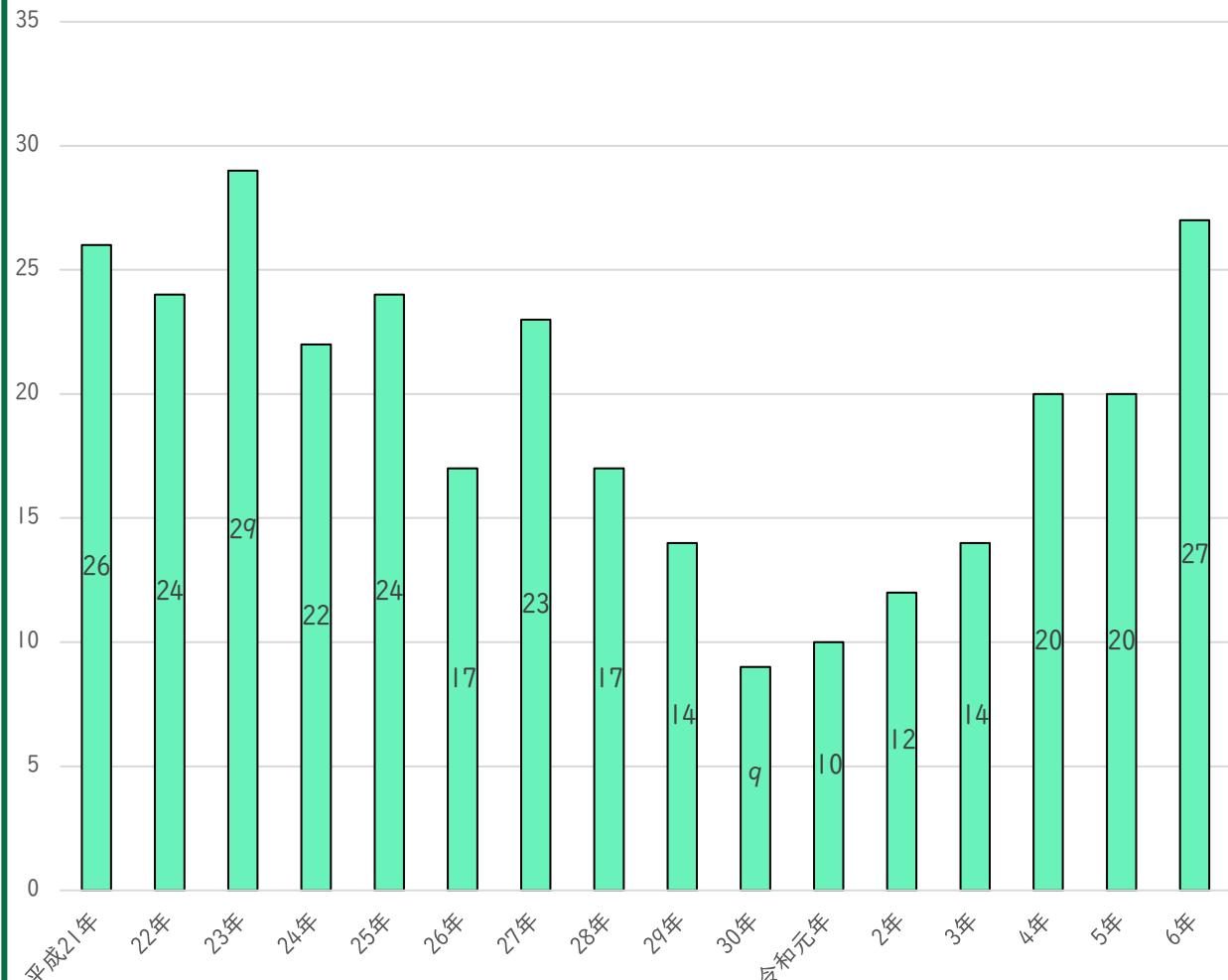


I. 自殺者数・自殺死亡率

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図 I】 浦添市の自殺者の推移



過去5年間平均
18.6人
(令和2年～令和6年)

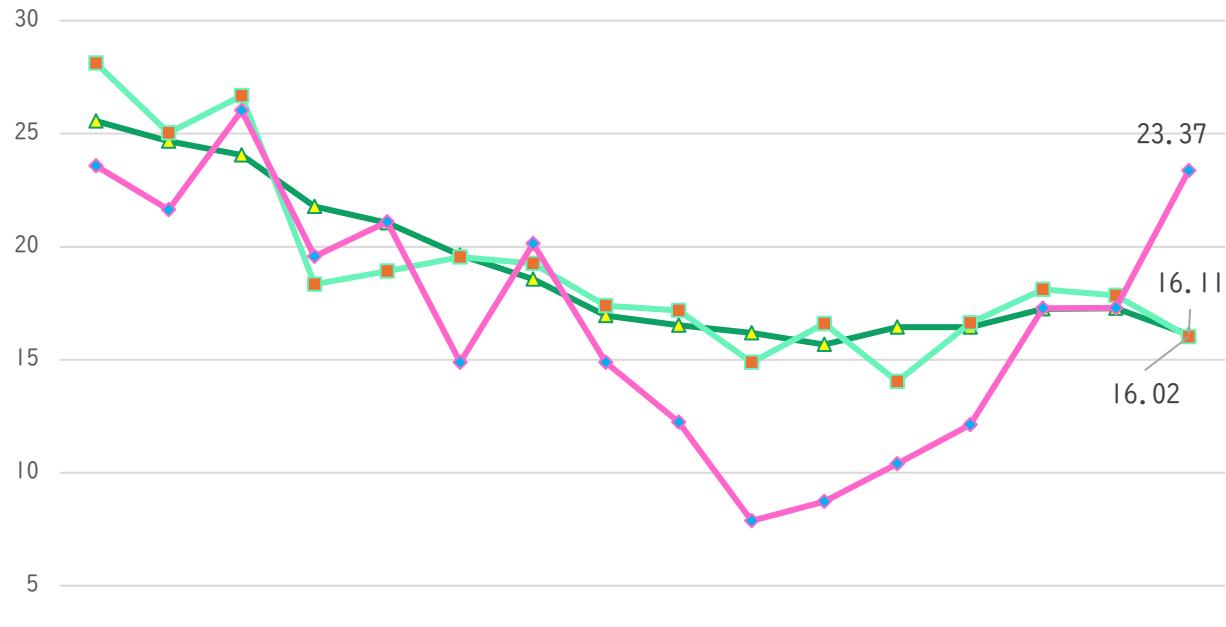
令和元年以降増加し、令和4年以降では3年連続で20人以上の方が自殺で亡くなっている。

I. 自殺者数・自殺死亡率

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図2】自殺死亡率の推移（比較）

■ 全国 ■ 沖縄県 ■ 浦添市



令和6年
浦添市の自殺死亡率
23.37

*自殺死亡率
人口10万人あたりの自殺者数

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
■ 全国	25.56	24.66	24.06	21.78	21.06	19.63	18.57	16.95	16.52	16.18	15.67	16.44	16.44	17.25	17.27	16.11
■ 沖縄県	28.12	25.03	26.67	18.34	18.92	19.54	19.26	17.38	17.18	14.88	16.60	14.04	16.63	18.11	17.84	16.02
■ 浦添市	23.58	21.64	26.02	19.57	21.1	14.88	20.13	14.89	12.24	7.87	8.73	10.40	12.12	17.28	17.29	23.37

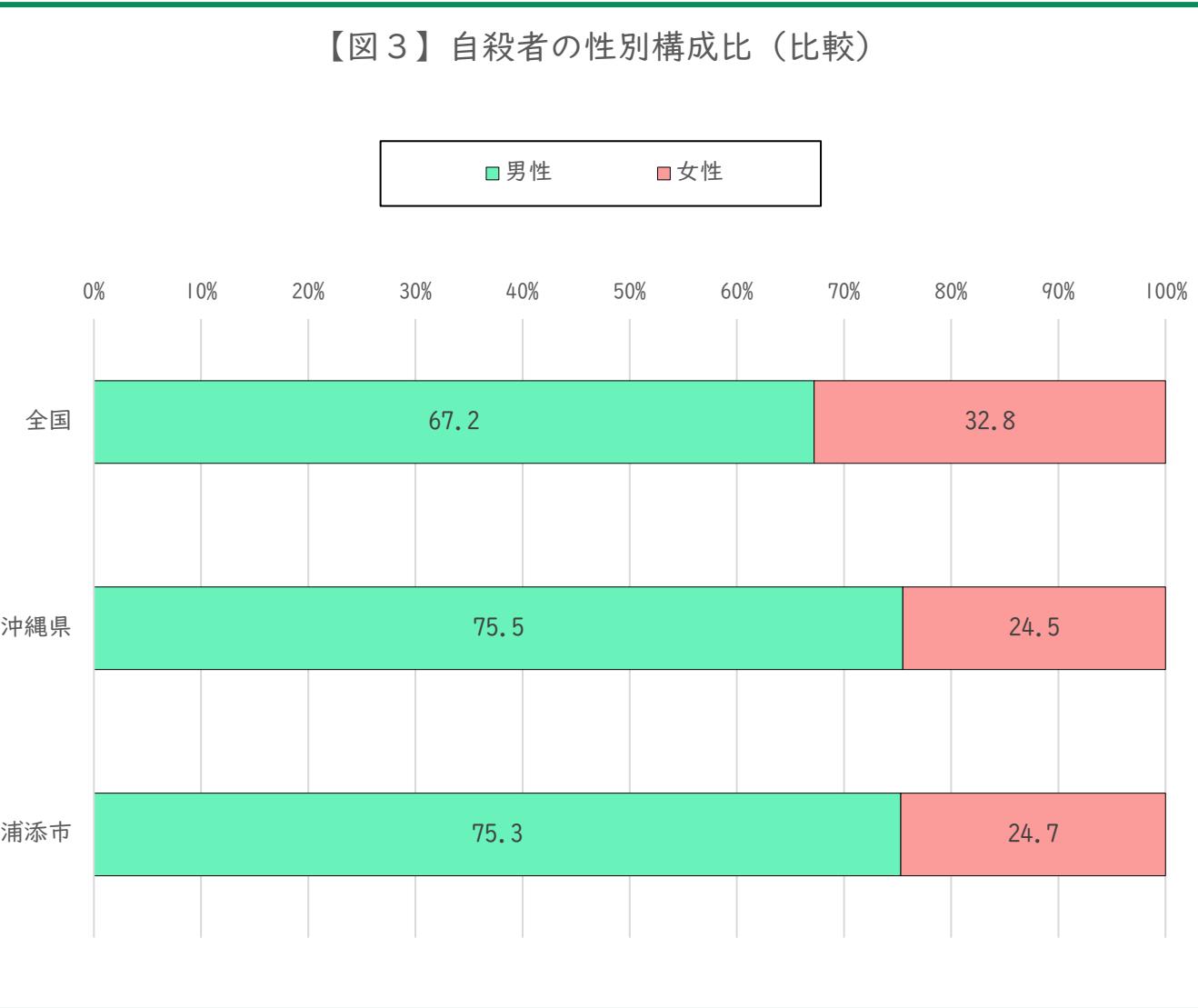
自殺死亡率を国、県と比較すると、令和6年は大きく上回る結果となっている。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図3】自殺者の性別構成比（比較）



男性

75.3%

女性

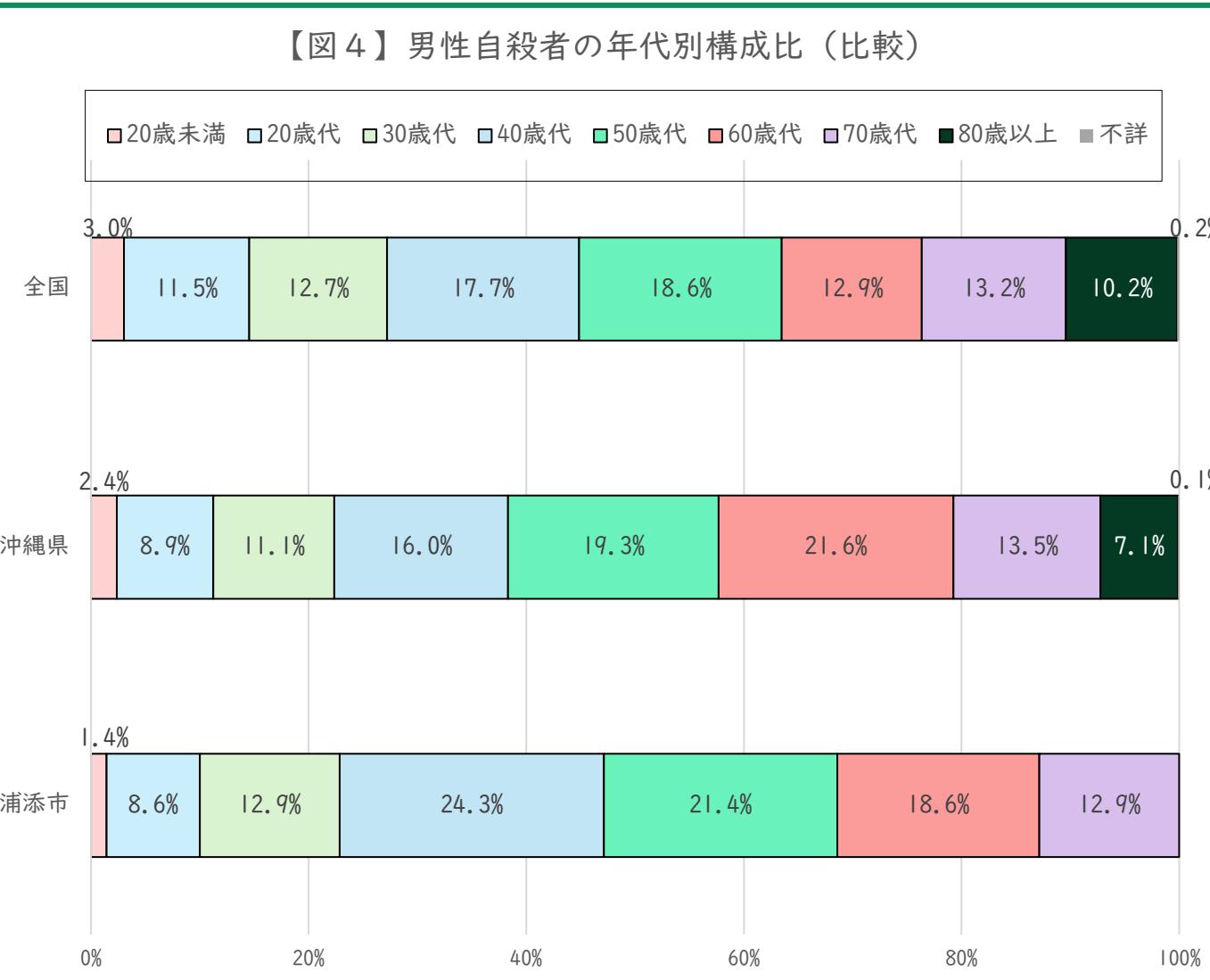
24.7%

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図4】男性自殺者の年代別構成比（比較）



男性

割合が高い年代

1. 40代 **24.3%**
2. 50代 **21.4%**
3. 60代 **18.6%**



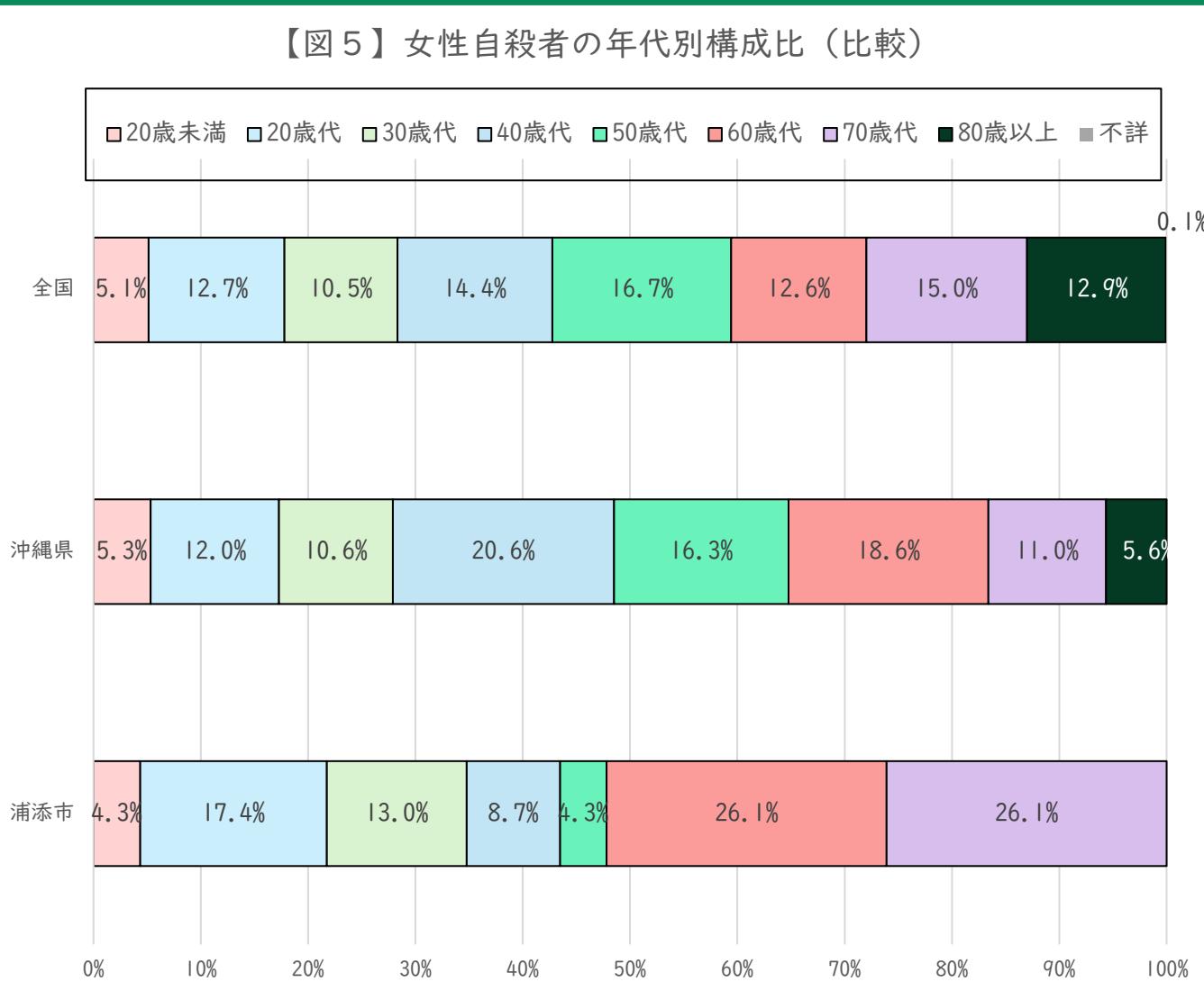
男性自殺者は、40～60代が64.3%を占めており、国、県と比較するとその割合が高い。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図5】女性自殺者の年代別構成比（比較）



女性

割合が高い年代

1. 60代 **26.1%**

70代 **26.1%**

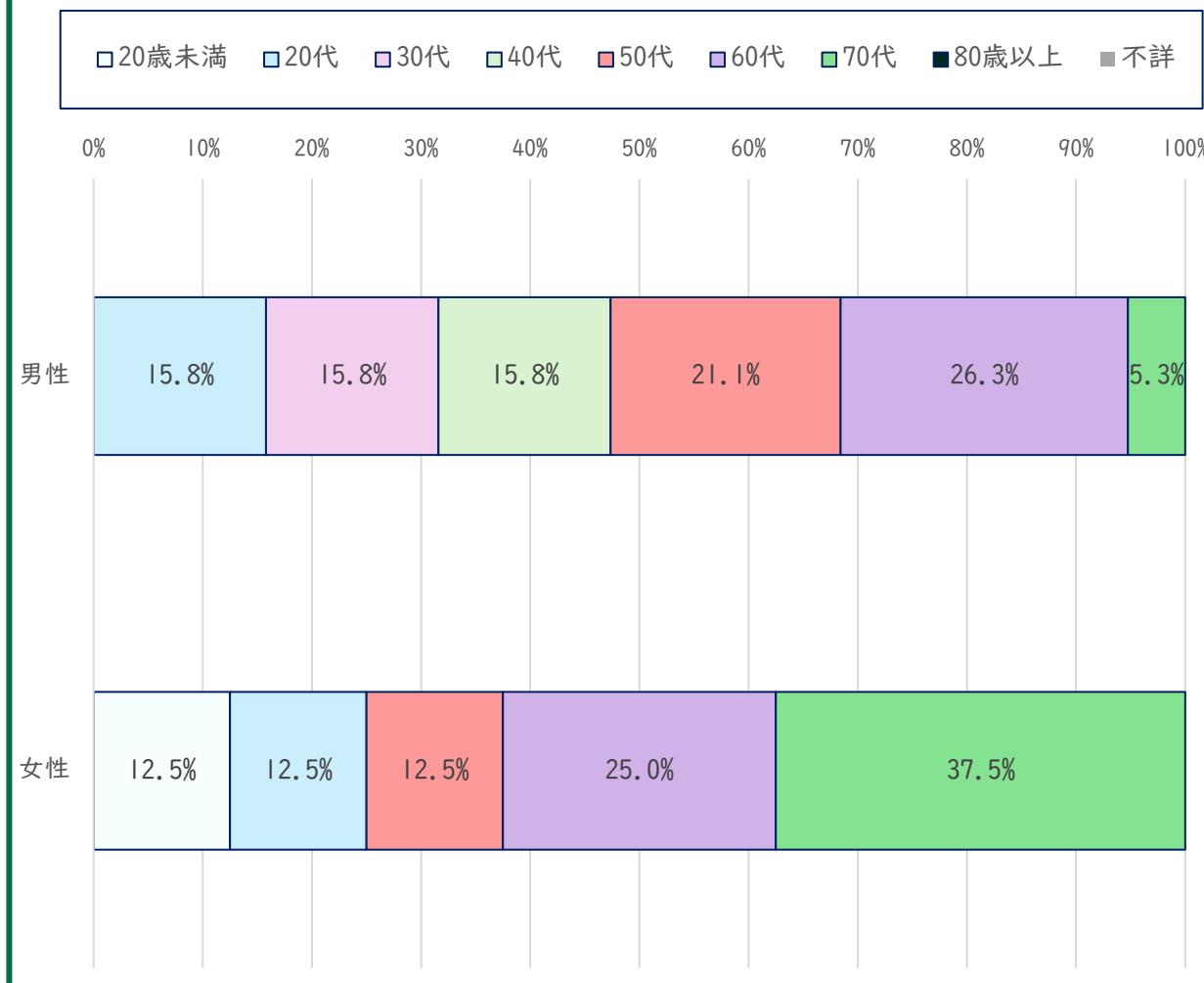
3. 20代 **17.4%**

女性自殺者は、60～70代が52.2%を占めており、国、県と比較するとその割合が高い。また、20～30代で3割以上となっており、国、県より高い。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図6】令和6年自殺者の年代別構成比



浦添市における自殺者数 前年との比較

男性



女性



	令和5年	令和6年	増減
20歳未満	0	0	-
20代	1	3	+2
30代	2	3	+1
40代	2	3	+1
50代	5	4	-1
60代	4	5	+1
70代	2	1	-1

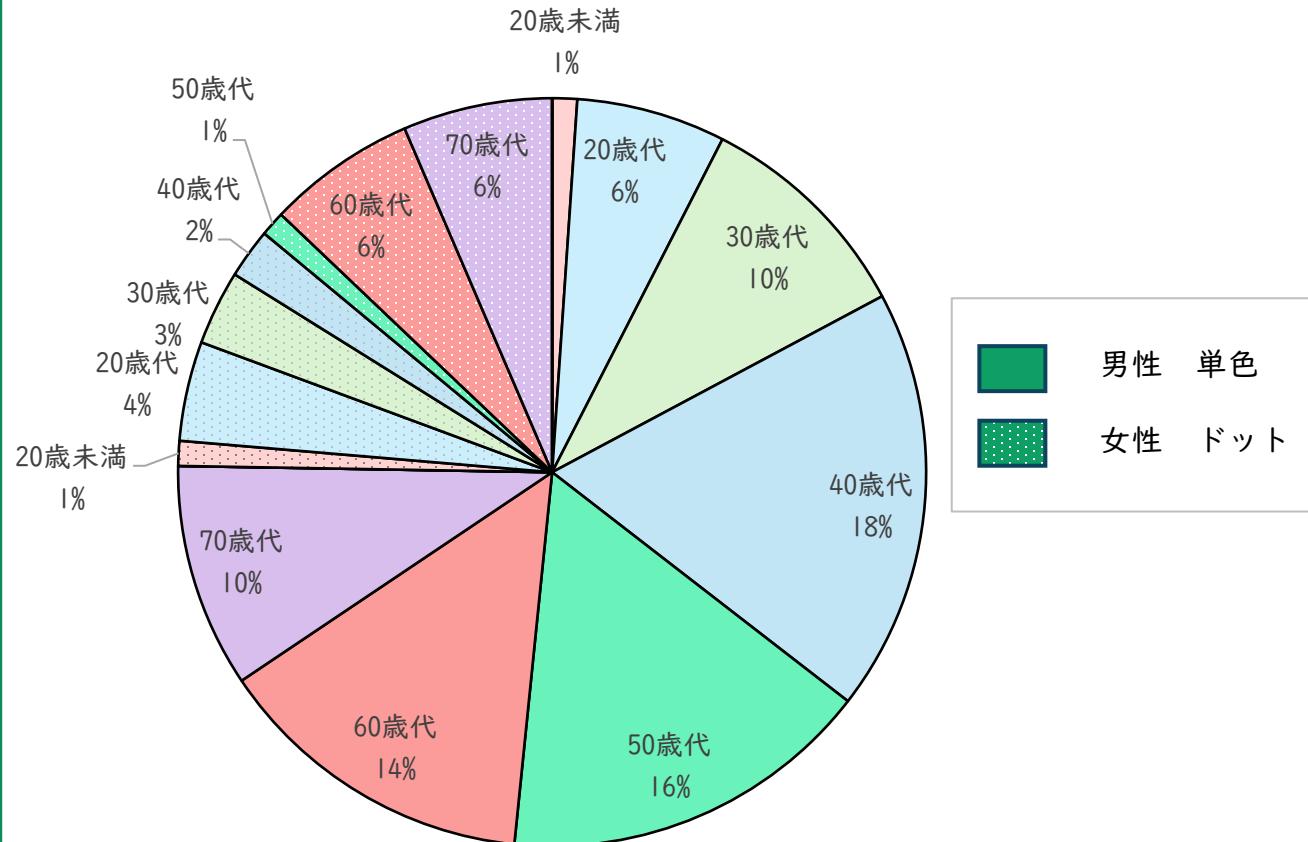
	令和5年	令和6年	増減
20歳未満	0	1	+1
20代	0	1	+1
30代	0	0	-
40代	1	0	-1
50代	0	1	+1
60代	2	2	-
70代	1	3	+2

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図7】浦添市の自殺者の性・年代別構成比



全体

割合が高い年代

1. 40代男性 18%
2. 50代男性 16%
3. 60代男性 14%



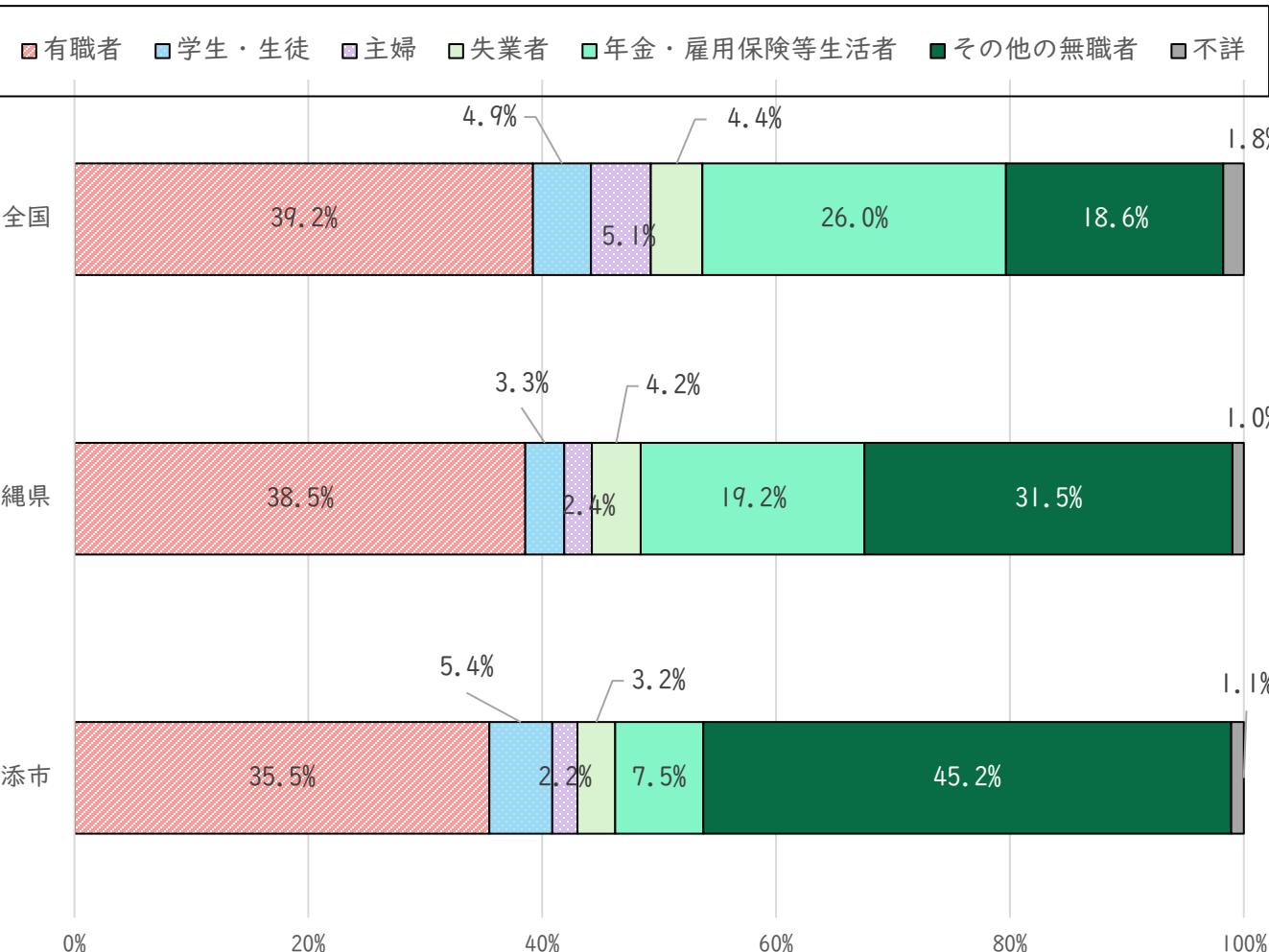
市全体の年代別割合は、40～60代の男性がおよそ5割を占めている。

3. 職業

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図8】自殺者の職業別構成比（比較）



その他の無職者
45.2%

※その他の無職者には、主婦、失業者、年金・雇用保険等生活者以外のすべての無職者（利子・配当・家賃等生活者、ホームレス、その他の無職者）が含まれる。

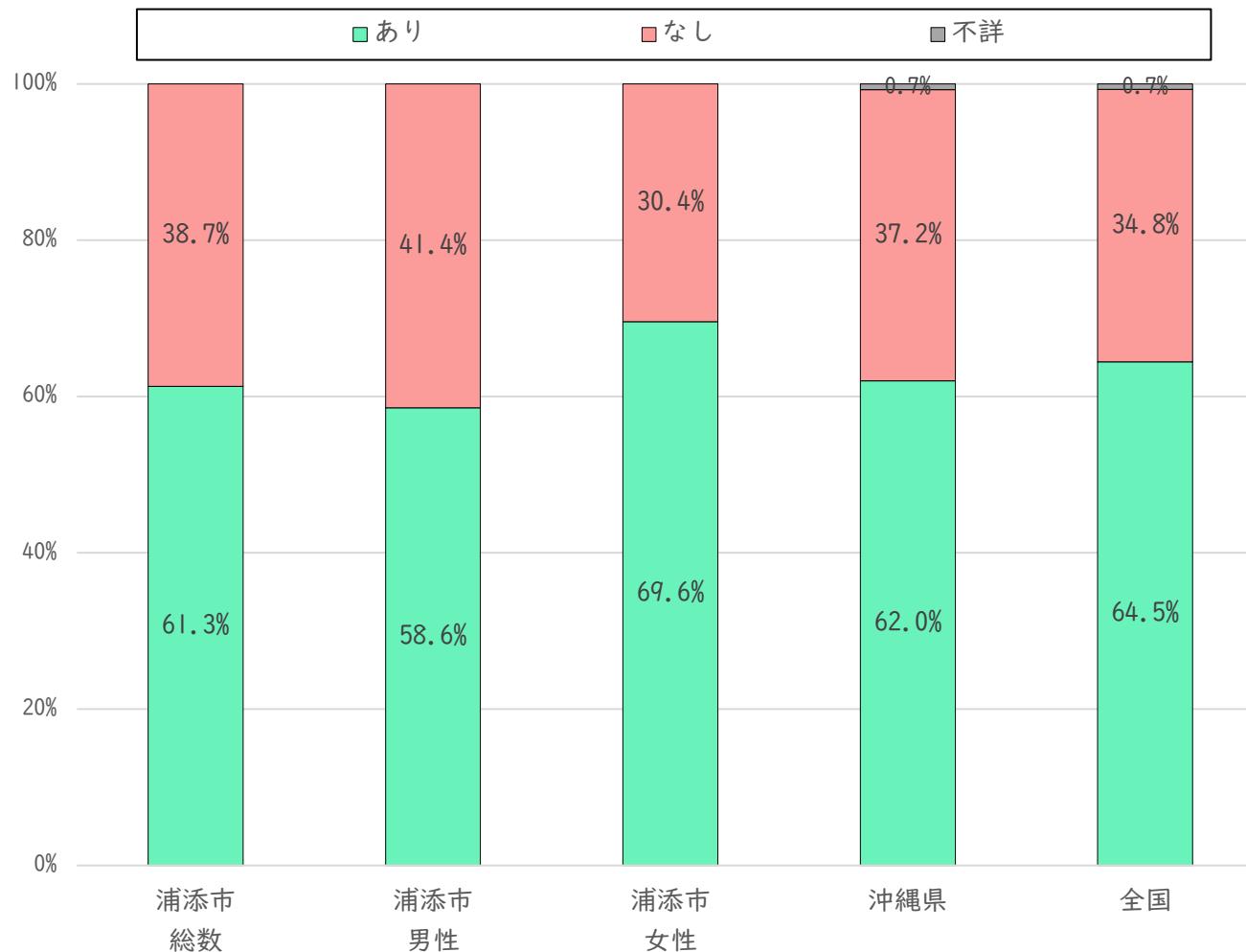
職業別では、有職者が35.5%、学生が5.4%、無職者が58.0%となっている。
無職者のうち「その他の無職者」が45.2%を占めている。

4. 同居人の有無

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図9】自殺者の同居人の有無別構成比



全体



同居人

あり 61.3%

なし 38.7%

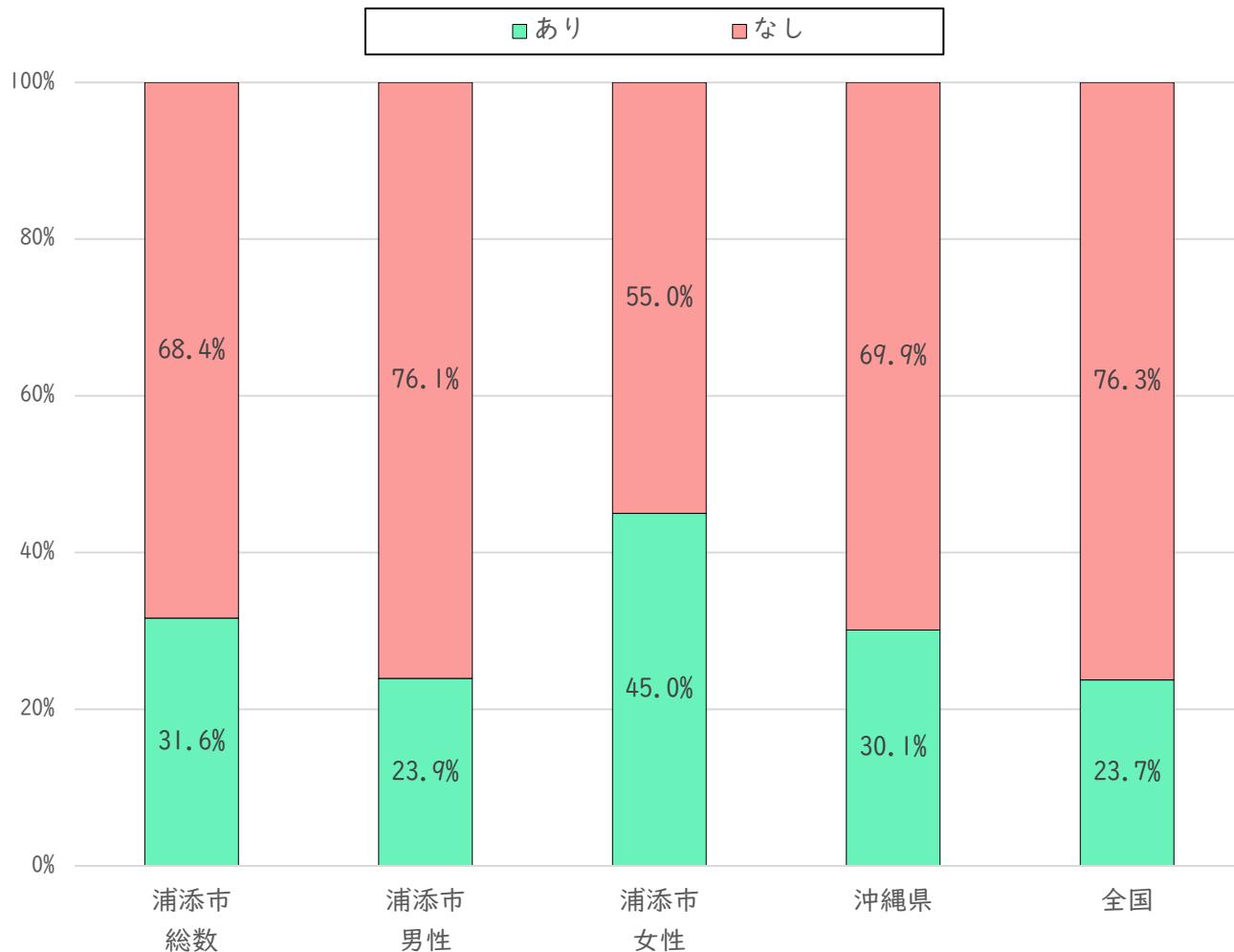
性別でみると、女性では『同居人あり』がおよそ7割と男性よりも高くなっている。

5. 自殺未遂歴の有無

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図10】自殺者の自殺未遂歴の有無別構成比（比較）



全体



自殺未遂歴

あり 31.6%

なし 68.4%

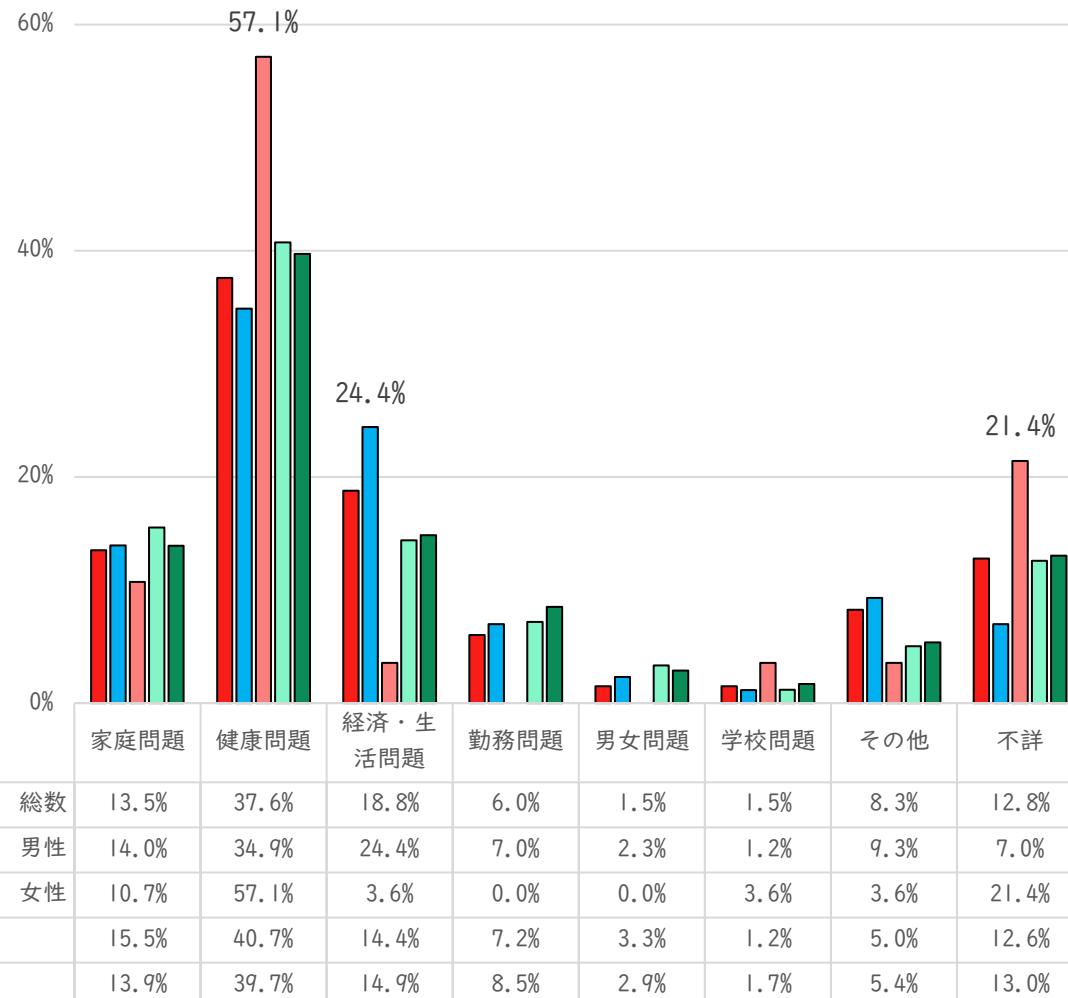
性別でみると、女性では『自殺未遂歴あり』が45%と高く、男性では『自殺未遂歴なし』が7割以上を占めている。

6. 自殺の原因・動機

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図11】自殺の原因・動機の割合（比較）



家庭問題
13.5%



男女問題
1.5%



健康問題
37.6%



学校問題
1.5%



経済・生活問題
18.8%



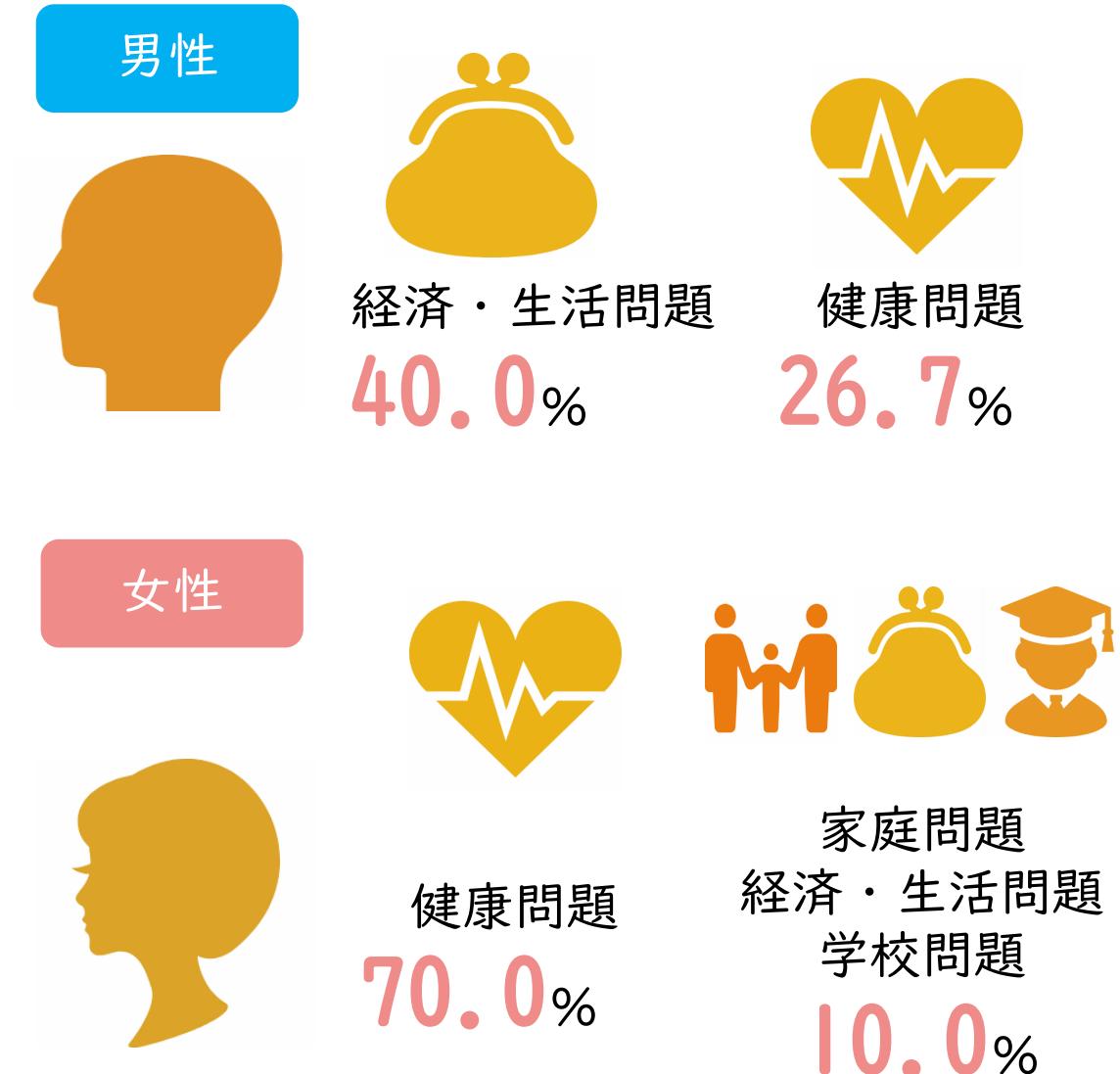
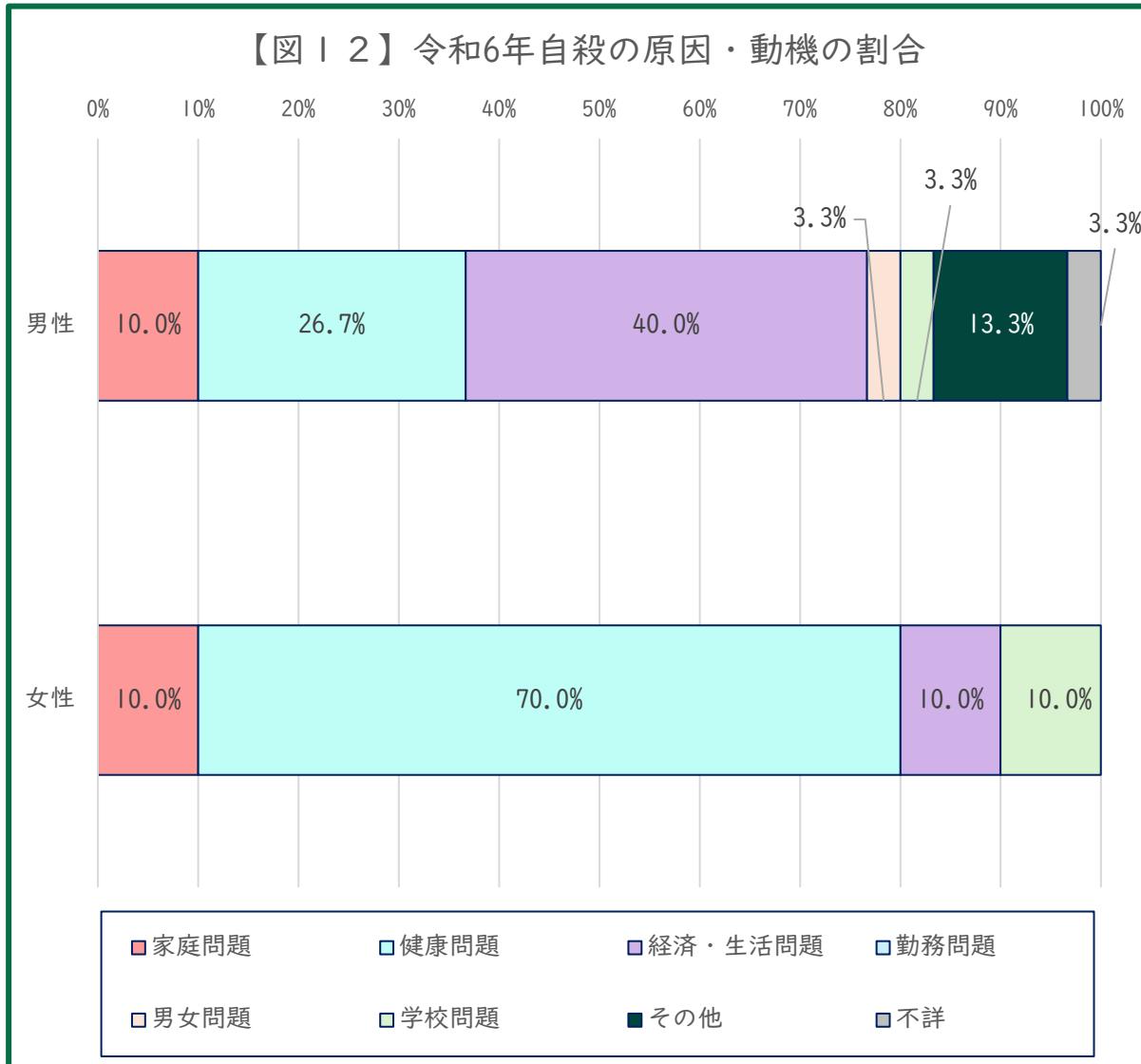
勤務問題
6.0%



不詳
12.8%

6. 自殺の原因・動機

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



7. 浦添市の自殺の特徴

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

まとめ

- 令和6年の自殺者は、国・県は前年より減少したが、浦添市は大きく増加している。
- 令和6年の自殺死亡率（23.37）は、平成23年（26.02）、平成21年（23.58）に次いで、統計開始以降3番目に高く、平成28年の自殺対策基本法改正以降、最も高い。
- 過去5年間の年代別構成比では、男性は40～60代（64.3%）、女性は60～70代（52.2%）の年代が半数以上を占めている。
- 令和6年の自殺者数は、男性は20代、30代、40代、60代、女性は20歳未満、20代、50代、70代で前年より増加している。
- 過去5年間の職業別構成比では、無職者（58.0%）が最も高く、そのうち「その他の無職者（主婦、失業者、年金・雇用保険等生活者以外のすべての無職者（利子・配当・家賃等生活者、ホームレス、その他の無職者）」（45.2%）が最も高い。
- 過去5年間の自殺未遂歴の有無別構成比では、男性（23.9%）に比べ、女性（45.0%）の方が、20ポイント以上高い。
- 過去5年間の自殺の原因・動機では、男女で差がみられる。
男性（1位：「健康問題」34.9%、2位：「経済・生活問題」24.4%、3位：「家庭問題」14.0%）
女性（1位：「健康問題」57.1%、2位：「不詳」21.4%、3位：「家庭問題」10.7%）